

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		汲取世帯支援事業				②事業番号		3210	
③事業類型		3. 政策推進事業		④開始年度		— 年度		⑤終了予定年度	
⑥根拠法令等		法令		〇 条例		規則		要綱	
⑦実施手法		直営		全部委託		〇 一部委託		補助・負担	
⑧関連予算科目コード		款		4		項		2	
⑨担当部名		市民生活環境部		⑩担当課名		環境整備課		会計	
								一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 汲取世帯人口		① 汲取世帯人口(各年度3月末現在)		人	
② 汲取業者		② 汲取業者数		者	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
窓口や委託販売所で汲取券を販売したり、適宜汲取業者に対して指導を行うことにより、適切な汲取が行われるようにする。		① 汲取券販売額		千円	
		②			
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
適切に汲取を行う。		① 汲取券販売額		千円	
		② 計算式			
		③ 計算式			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
適切に汲取が行われることにより、生活環境の保全、公衆衛生が向上する。		政策(章)		5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち	
		施策大(節)		3 日常生活や事業活動などにおいてすべての市民・事業者が資源・エネルギーの利用などに配慮し、環境に負荷をかけないまちをめざします	
		施策中		1 資源・エネルギー有効利用の推進	
		施策小		3 ごみ廃棄物の適正処理	

〔2〕各種指標値、事業費の推移

		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標①		汲取世帯人口(各年度3月末現在)	人	7,027	6,029	6,013	6,010	6,010	
対象指標②		汲取業者数	者	3	3	3	3	3	
活動指標①		汲取券販売額	千円	36,456	35,484	32,594	31,860	31,860	
活動指標②									
活動指標③									—
成果指標①		汲取券販売額	千円	36,456	36,971	32,594	31,860	31,860	
成果指標②									
成果指標③									
事業費	投入人員	正職員	人	0.33	0.23	0.35	0.35		
		任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
		臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	2,675	1,774	2,671	2,671		
		直接事業費	千円	37,218	36,016	35,297	37,172		
	総事業費	千円	39,893	37,790	37,968	39,843			
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		—	
	府支出金	千円	0	0	0	0			
	受益者負担金	千円	26,466	31,930	32,594	31,860			
	その他特定財源	千円	0	0	0	0			
	一般財源	千円	13,427	5,860	5,374	7,983			

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	窓口や委託販売所で汲取券を販売したり、適宜汲取業者に対して指導を行うことにより、適切な汲取が行われるようにするため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	公共下水、浄化槽人口の増加により汲取人口は減少している。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価

A

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

4. 総合評価

5. 改革、改善案【ACTION】

＜今後の方向性＞ イ ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ↓ ウ. 終了 ↓ (年まで) エ. 休止 ↓ (年から) オ. 廃止 ↓ (年から)	
＜今後の展開方針＞ ｂ a. 重点化する(集中的なコスト投入) c. 効率化する(コストを下げる) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など	今後引き続き、し尿汲取り券廃止に向け検討を行っていく。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	し尿汲取り券廃止については、汲取り業者の協力等を得るのに苦慮している。